

論文・レポート執筆のススメカタ 第3弾!

卒論・修論執筆応援キャンペーン開催!

2019/7/1(月)-8/5(月)

特集

『先輩インタビュー』

論文執筆中のタイムスケジュール、
苦労した点、これからの夢・・・
先輩にロングインタビューしてきました!

裏面をご覧ください



<お知らせ>

- ☆試験期間の臨時開館・開館時間延長
- ☆夏季特別貸出

京都大学 吉田南総合図書館 (愛称: 逍遙館)

しょうようかん

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

Tel : 075 (753) 6524, 6525

Fax : 075 (753) 6896

Email : eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

HP : <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/>

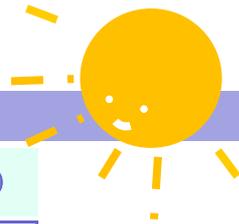
Twitter : @yoshidasouthlib

HP



Twitter





【お知らせ】 試験期間の臨時開館・開館時間延長を実施

実施期間:7月9日(火)~7月28日(日)

7月9日	火	9:00-21:00
7月10日	水	
7月11日	木	
7月12日	金	
7月13日	土	10:00-15:00
7月16日	火	9:00-21:00
7月17日	水	
7月18日	木	
7月19日	金	
7月20日	土	10:00-18:00
7月21日	日	
7月22日	月	9:00-21:00
7月23日	火	
7月24日	水	
7月25日	木	
7月26日	金	
7月27日	土	10:00-18:00
7月28日	日	



【お知らせ】 夏季特別貸出はじまります



■実施期間

学部生:7月23日(火)~9月25日(水)
院生/教職員:7月23日(火)~9月9日(月)
*8月11日(日)~20日(火)は夏季休館です。

■返却期限日 2019年10月10日(木)

*夏季特別貸出の図書は更新できません。

■冊数(平常通り)

学部生:開架 5冊 書庫 10冊
院 生:開架10冊 書庫 30冊
教職員:開架10冊 書庫 対象外



Follow me ! @yoshidasouthlib



【イベント】 卒論・修論執筆応援キャンペーンを開催！

**卒論・修論執筆
応援キャンペーン**
2019/7/1(月)~8/5(月)

今年も吉田南校舎図書館は、論文を執筆するみなさんを全力で応援！カウンター前の展示コーナーをチェックしてね。

【展示】リアル卒論・修論
執筆当時の原稿や完成品を展示します！

【体験談】先輩たちはこうしました。
執筆当時の様子や失敗談をまとめた冊子を配布します！

【展示】論文の書き方参考本
執筆の参考にしたい論文の書き方を紹介します。

【相談】レファレンス・サービス
執筆の参考にしたい論文の探し方や、資料の取り寄せについてお話しします。

Library Newsletterは先輩インタビュー付き特設号です！

Twitter @yoshidasouthlib
Facebook Yoshida South Library
Instagram yoshidasouthlib

【体験談】

先輩たちはこうしました。

【相談】

レファレンス・サービス

執筆当時の様子や失敗談のあれこれをまとめた冊子を配布！

文献調査、資料取り寄せ、ご相談ください！
【調査・相談カウンターにて 平日9時~17時】

【展示】

論文の書き方参考本

【展示】

リアル卒論・修論

執筆のお供にいかがでしょうか？貸出もできます。

先輩たちが書いた論文の実物を見てみませんか？



期間：7月1日(月)~8月5日(月)

場所：カウンター前の展示コーナー



裏面 『先輩インタビュー』



特集

卒論・修論執筆応援キャンペーン

先輩にお話を聞きました



お話を聞いた先輩：野添聡さん

人間・環境学研究科修士2年生（平成31年3月時点）

研究テーマ：「Otfrid von Weissenburg „Evangelienbuch“における古高ドイツ語動詞接頭辞ge-の研究」

■学部は京都大学ではなかったとのことでしたが…

学部生の時から、古い時代のゲルマン語を対象とする言語学の研究をしたいと思っていました。この研究分野の専門教員が京都大学におられることを、様々な書籍を読んで知り、また当時の先生にも勧められたので、京大の大学院を選びました。

■なぜ修士に進まれたのですか？

いま研究している接頭辞(prefix)のge-(ex. ドイツ語 kommen : gekommen)は、当時の私に扱えるレベルの研究テーマではなく、学部時代から大学院に進んで専門的に研究するべきだと考えていました。そのため、学部では本命のテーマを温存しつつ、古いゲルマン語の文法を習得するなど基礎固めをして修士課程に進もうと考えました。

■このテーマ(研究分野)に興味を持たれたきっかけは何ですか？

幼いころから百科事典や図鑑が大好きで、高校時代には、英語という言葉の「図鑑」ともいべき英語辞典を読むことに没頭し、とくに語源辞典をよく読みました。語源辞典の記述は専門的で当時の私には難解でしたが、高校の先生に古いゲルマン語を専攻した方がいらっしゃる、その先生とのやりとりを通じて英語やドイツ語が同じ言語のグループにあることを教わりました。ゲルマン語の最古層の資料が、現在、自分が扱っているゴート語の文献だと教えてくださったのもその先生でした。

ゲルマン語派の古い時代の諸言語は、大まかに言えば文法的によく似ているため、ゴート語が読めるようになれば古い時代の英語もドイツ語もより分かるようになります。そのため高校の先生からゴート語の文法書をお借りし、大学受験そっちのけで勉強しました。

ところで、ドイツ語では過去分詞を作る際に kommen「来る」- gekommen のように接頭辞のge- を用いますが、より古い時代のゴート語ではgaggan「行く」- gaggansのように語尾変化で過去分詞を作っていました。今日の英語でも、go「行く」- goneですよね。このように過去分詞を作るge- は、名詞のGebäude「建物」や不定詞の geschehen「生じる」にも現れ、その様相は複雑怪奇です。大学に入ってはじめてドイツ語を本格的に勉強し始めた私にとって、この小辞は極めて興味深い存在でした。

■修士論文の執筆のタイムスケジュールは？

研究テーマをge- にすると宣言したのは修士1年目の5月でした。その後も先行研究や古い言葉の文献など必要な資料を集めて読むことに時間を掛けましたが、あまりの難解さに、何度かテーマの変更を考え、翌年の3月ごろまで悩むことになりました。

そして修士2年目の4月頃ようやく修士論文の方向性が決まり、本格的に取り組みました。論文自体の執筆は、夏休み頃から原稿を書き始め、研究室での発表が数回あり、12月の下旬に中間発表がありました。そして12月の下旬にはほぼ書き終わっていました。その後、文体の調整や誤植のチェックなどにじっくり時間をかける計画でしたが、年末年始に体調を崩し、十分に校正をできなかったのが心残りです。

■執筆された今のお気持ちは？

私には目標とする言葉があります。

「およそ科学というものは、どれほどの精神と洞察力で考え出したものでも、複雑な憶説によって進歩するものではなく、むしろそれ自体明白であるが、明瞭に意識され、徹底的に実施されて、はじめて、その効果を現すような単純な根本思想によって進歩する」*

これが私の目指すところです。私は天才的な閃きを持っているわけでも、極めて明晰な頭脳を持っているわけでもありません。ただ、地道に徹底的に古語の文献を読むという姿勢だけは、誰にも追従を許さないと自負しています。この言葉を十分に理解できているか、努力の方向があっているかは不明ですが、修士論文で、どれくらいこの言葉に近づけたのだろうか、と、修論を読みながら振り返っています。

*出典：Hermann, Paul „Prinzipien der Sprachgeschichte“ 6. Aufl. Tübingen: Max Niemeyer Verlag, 1960. (日本語訳：ヘルマン・パウル『言語史原理』(上)福本喜之助訳 講談社学術文庫1976年18-19頁より) <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/TW86201665>

■ご自身で書かれた論文は読み返していらっしゃるのですか？

論文自体は平凡かもしれませんが、文献を真剣に読んだ証でもあるので、今でもよく読み返しています。

■修論に満足はされましたか？

あくまで通過点ですから満足はしていません。満足したら進歩しないですね。改善点だらけだと思っています。

■苦労した点はどこですか？

論文の原稿自体は、パソコンで打ち込むだけなのですが、研究対象となる古語文献の読解が最も困難でした。私が修士論文で扱ったのは、西暦870年ごろにドイツ南西部(現フランス)のアルザス地方ヴァイセンブルクの修道士オットフリートが執筆した、『オットフリートの福音書』(Otfrids Evangelienbuch)* と呼ばれる新約聖書の4福音書を骨子とするキリスト伝です。ラテン教父の注釈の内容を加味して、古高地ドイツ語で書かれており、古い時代のドイツ語の文献の中でも最も難解な文献の一つとされる書物でした。

研究テーマの揺れはありましたが、文献の精読は2年間続け、1日に最低でも8時間、多い時には13時間ほど読み、今でも読み続けています。私は本を読む際はまず自分で本を買って、「書き込み」をして、その時の考えや調べた事柄をメモすることにしているのですが、いまこの500頁ほどの刊本の余白や、印刷された本文の文字の隙間にも、虫眼鏡でないと読めないほどの大きさの文字が鉛筆でぎっしり書き込まれ、余「白」というより真っ黒になっています。同時に、活字印刷の刊本だけでなく、複数現存する『オットフリートの福音書』が書かれた当時の手書きの羊皮紙を丹念に読み比べることで自分なりの新しい発見もありました。

またこの文献を書いたのは修道士と呼ばれるいわゆる「お坊さん」であり、現代の我々の日常生活とは異なる空間で生活していた人です。当然、物の見方や考え方も異なるわけで、私は当時の修道院の戒律に基づいて、就寝や起床の時間など出来るだけ修道僧に近い生活習慣を身につけることで、文献の書き手と同じ眼で文献を見つめようと試みました。

古いドイツ語の文献と、その典拠となったラテン語の聖書注釈書をじっくり読む文献学の研究は大変ですが、同時にこの『オットフリートの福音書』のように多くの精神的な糧を与えてくれる文献を読むこと自体が喜びでもあり、この文献を読んでいるからこそ研究を続けることができたと言えます。

*出典:Oskar, Erdmann (Hrsg.): Otfrids Evangelienbuch. Halle a. S.: Verlag der Buchhandlung des Waisenhauses. (Germanistische Handbibliothek V) 1882.

■図書館について、どのように役立ちましたか？

学内の各図書館の蔵書が研究に必要不可欠なことは言うまでもありませんが、取り分けてここで言及したいのはILL*と、学生購入希望図書です。

この二点を挙げた理由は、周知のように、これまであまり取り組む人のいなかった研究分野であるゆえに図書館にはあまり古いドイツ語の文献がなく、論文に必要な文献のほとんどをこの図書館のサービスで補っていただいたからです。たしかに京大は中世全盛期のドイツ語に関する資料は幾分か所蔵していると思いますが、私の研究している、より古い時代のドイツ語に関する文献の多くは、ILLで国内外から取り寄せていただく必要がありました。ただしILL(私費)、とくに海外からの取り寄せは費用がかかるので、学生購入希望図書は大変ありがたいと思っています。

*ILL:Inter Library Loan(図書館間相互利用サービス)

■これからの夢を教えてください

研究者になるという目標もありますが、長期目標として、難解さゆえにこれまで日本ではほとんど正しく認識されていない『オットフリートの福音書』の内容的な深さ、面白さを様々な人に理解してもらえるように、詳しい注釈付きの正確な全訳を刊行することが夢です。また現在、他の古ドイツ語文献である修道士ノターの著作の読解も進めており、こちらの全訳も刊行して、深遠な古ドイツ文学の考究と発信をライフワークとしたいです。

■ご自身にとって研究とは？

一言で言うならば「義務」です。本や資料を譲ってくださった先生、教えてくださった先生がこの数年で次々にご退職されました。この分野には私ほどの世代の研究者がほとんどいませんから、自分が研究をやめれば研究の流れが途絶えることになり、先生方もそれを見越して、私に貴重な資料とお知恵を授けてくださったわけです。決して傲りで言うのではなく、私はその学恩に報いなければならないと思って、今日も文献の読解に勤しむのです。

Library Newsletter 第5号
(2019年10月号)でも、先輩の
インタビューを掲載します。
どうぞお楽しみに!



本館開館日程表

7月

■ 論文・レポート執筆のススメカタ第3弾
「卒論・修論執筆応援キャンペーン2019」
7月1日(月)～8月5日(月)

■ 臨時開館・開館時間延長

00 9:00-21:00

00 10:00-18:00

■ 夏季特別貸出を開始
23日(火)から

8月

■ 論文・レポート執筆のススメカタ第3弾
「卒論・修論執筆応援キャンペーン2019」
7月1日(月)～8月5日(月)

■ 夏季休館 11日(日)～20日(火)
※環onも休室



00 9:00-20:00

00 10:00-15:00

00 休館

00 定例休館

7

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

環on 開室日程表



話せる図書館

「環on(わおん)」(人環棟1F)

開室: 月～金 9:00-17:00

休室: 土・日曜日・祝日

創立記念日(6/18)

冬季休業期間

卒業式の翌日～4/3, 8/11～8/20